

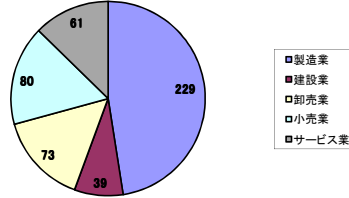
景気動向

業況は横ばい。
先行きは製造業で改善、非製造業はわずかに改善の見通し。

- 調査時点 平成25年7月調査(25年6月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 482社(回答率:60.3%)
(製造業229社、建設業39社、卸売業73社、小売業80社、サービス業61社)
- 調査時期 四半期毎(3, 6, 9, 12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	229
建設業	39
卸売業	73
小売業	80
サービス業	61



<全産業>

全産業の業況DI(▲24.4)は、前回(▲23.3)とほぼ同じ横ばいを示した。業種別では製造業の業況DI(▲31.9)は、前回(▲41.1)に比べて9.2ポイント差とわずかに改善を示した。建設業の業況DI(7.7)は唯一プラスではあるが、前回(25.0)に比べてわずかに悪化している。卸売業の業況DI(▲23.3)は前回(▲13.5)に比べてわずかに悪化を示した。小売業の業況DI(▲28.7)は前回(▲6.5)に比べて▲22.2ポイント差と悪化を示した。サービス業の業況DI(▲13.1)は前回(▲19.6)に比べてわずかに改善を示した。各業種から「仕入単価は上がっているが、収益は上がりず大変厳しい。」といった声が多くあった。また、依然として原発事故による風評被害の影響が続いているといった声もみられ、業種を問わず、全体的に厳しい状況であるとの意見が多数あった。

【3か月先見通し】

〈業況〉 今回＝平成25年6月末
全産業では今回(▲24.4)から3か月先(▲4.6)とわずかに改善を見通している。製造業では今回(▲31.9)から3か月先(▲2.1)と改善を見通している。建設業では今回(7.7)から3か月先(2.6)とプラスを維持しているが、わずかに悪化を見通している。卸売業では今回(▲23.3)から3か月先(▲4.1)とわずかに改善を見通している。小売業では今回(▲28.7)から3か月先(▲18.8)とわずかに改善を見通している。サービス業では今回(▲13.1)から3か月先(0.0)とわずかに改善を見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
6月末時点	-24.4	-24.0	-32.2	-7.4
3月末時点	-23.3	-22.8	-33.4	-13.5
前回比	-1.1	-1.2	1.2	6.1

■全産業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	12.7	15.2
悪化	37.1	38.5
DI値	-24.4	-23.3
前回比	-1.1	2.6

■6月末時点からみた全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	16.2
悪化	20.8
DI値	-4.6

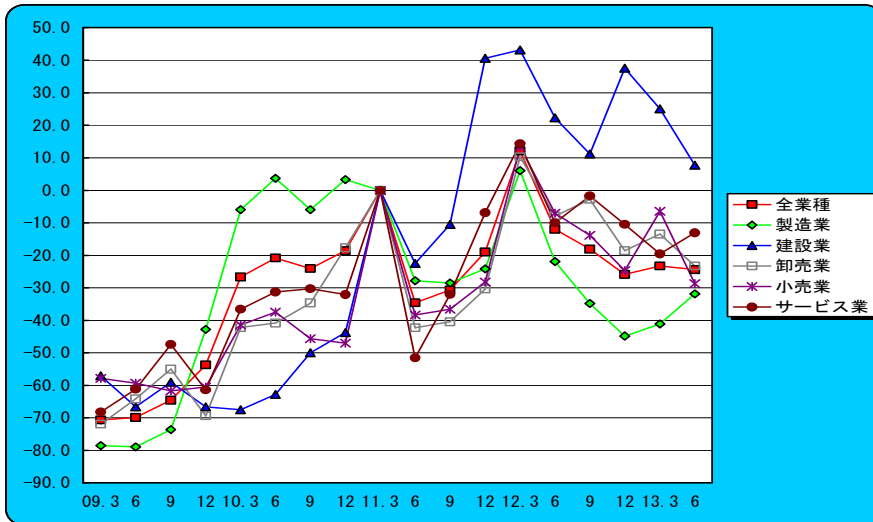
■製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	11.8	9.3
悪化	43.7	50.4
DI値	-31.9	-41.1
前回比	9.2	3.7

■非製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	13.4	20.6
悪化	31.2	27.4
DI値	-17.8	-6.8
前回比	-11.0	1.2

■業種別業況DI値推移グラフ



<製造業>

業況DI値	
今回	-31.9
先行き	-2.1
前回比	9.2

対象企業	377
回答企業	229

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに改善を示した。

〈業況〉

- ・改善……「ニット」、「木材・木製品」、「印刷」、「輸送用機器」
- ・わずかに改善……「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」、「精密機器」
- ・横ばい……「食料品」
- ・わずかに悪化……「酒造」、「織物」、「縫製」、「窯業・土石」、「プラスチック」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上・採算で改善、資金繰りでわずかに改善を見通している。

〈業況〉

- ・大幅改善……「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「輸送用機器」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・改善……「ニット」、「窯業・土石」、「一般機械」、「電気機器」
- ・わずかに改善……「食料品」
- ・横ばい……「酒造」、「織物」、「縫製」、「印刷」
- ・わずかに悪化……「木材・木製品」

「震災後に業績が悪化し、現在に至るまで回復していない。」「円安になってもあまり受注が増えてこない。」といった不安の声がある一方、少数派ではあるが「アベノミクス効果か福島県内の除染効果なのか、我社は直接携わっておりませんが、間接的に良い影響を受けております。」といったプラスの意見もあった。

自由意見

製造業

- 風評被害が依然として収まらず、厳しい状況です。【食料品】
- いつ倒産してもおかしくないのが現状です。【食料品】
- 人材不足。【食料品】
- 製造工場が震災で半壊した為、工事中。需要動向が変化しているが、放射性物質による県産品への信頼が揺らいでいる面も否定できないと思います。今は耐える時期かもしれない。【酒造】
- 円安の影響で、原料高・製品安の環境である。【織物】
- 繊維業界は、円安でも厳しい状況です。天候にも影響があります。【縫製】
- 円安により原料、資材が上昇しており、販売価格への転嫁が追いつかない。【木材・木製品】
- 景気動向は着実に向上しているように感じられるが、業種・業界により格差がある。また、月次で考えた場合、乱高下が著しい。災害復興事業(公共)は昨年に比較すると着実に実行されているように感じられるが、事業によっては短期集中のため地場産業に貢献していない。【木材・木製品】
- 震災後に業績が悪化し、現在に至るまで回復していない。【印刷】
- 人と車が増え景気が良さそうだが、資材の値上がりがあり、第1次、第2次産業は苦戦している。【印刷】
- 材料費、運搬輸送費が上昇。それに伴い諸経費が増加してきており、価格への転嫁を考えている。経費倒れの感じがする。【窯業・土石】
- 道路関連は小休止状態です。復興が遅れているのか、山砂等については、まだ動きが出ていません。状況は昨年と比較して若干ダウンしています。【窯業・土石】
- 大手客先は、エレクトロ不況の雲がなかなか晴れず、バラツキが大きい。【窯業・土石】
- 製造業は、全体的に悪化している。【鉄鋼・非鉄】

○ 悪化していた業況から立ち直りつつある状況です。	【金属】
○ 新年度スタートの4月、5月が低調で、6月は前年同月と同等。7月からは持ち直して欲しい。	【金属】
○ 銀行の貸し渋りに苦慮している。	【金属】
○ 親会社(大手企業)が生産調整に入っているため、受注減少と単価の低下(見直し)が続いている。	【金属】
○ 鉄鋼材料や油、電気料など諸経費や資材の値上がりが先行する形で、円安によるメリットは現状少ない。	【一般機械】
○ 円安になってもあまり受注が増えてこない。	【一般機械】
○ アベノミクスの状況下でも苦しい状態が続いています。	【一般機械】
○ 先行き不透明。	【電機機器】
○ 5月以降各社が受注減少している。国内に仕事がない。	【電機機器】
○ アベノミクス効果が福島県内の除染効果なのか、我社は直接携わっておりませんが、間接的に良い影響を受けております。	【電機機器】
○ 上期9月までは多忙ですが、単価も下がり利益率が低下している。10月以降は見通しが立たない。	【電機機器】
○ トラック部品においては、スパンは短いのが上向き、更に建設機械部品(重機部品)においても、受注増が見込まれる。	【輸送用機器】
○ 自動車部品業界の国内需要そのものが減少している中、自社の特異性がなかなか見出せない。	【輸送用機器】
○ 製造業は全体的に仕事量が減少して来ている。コストダウンの要求が厳しく、資材等の値上がりが更に苦しんでいる。	【精密機器】
○ 短納期受注のため受注残が減少。稼働率低下(納期が合わない、段取り比率が多くなる)により安定性が低くなる。	【精密機器】
○ 売上は伸びているが、原料高、重油高の影響で、採算は悪い。販売価格の値上げが今後のポイントとなる。	【プラスチック】
○ 受注減少に輪をかけて、仕入単価の上昇が利益率を低下させている状況。	【プラスチック】
○ 仕入単価や動力費、諸経費の上昇に売上単価が追いつかない。	【プラスチック】

<建設業>

業況DI値	
今回	7.7
先行き	2.6
前回比	-17.3

対象企業	67
回答企業	39

採算でわずかに改善、資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を示した。

<業況>

- ・横ばい……「建築」
- ・悪化……「土木」

<売上>

- ・わずかに悪化……「建築」
- ・悪化……「土木」

<採算>

- ・「土木」、「建築」ともにわずかに改善を示した。

<資金繰り>

- ・わずかに改善……「建築」
- ・わずかに悪化……「土木」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに悪化、資金繰りで悪化を見通している。

<業況>

- ・横ばい……「土木」
- ・わずかに悪化……「建築」

<売上>

- ・横ばい……「建築」
- ・悪化……「土木」

<採算>

- ・「土木」、「建築」ともにわずかに悪化を見通している。

<資金繰り>

- ・「土木」、「建築」ともに悪化を見通している。

「建設業界は、非常に多忙だがこのような状況がいつまで続くか、先が見えない」といった声や「災害の工事が一段落した後からが、激戦の始まりと考えています。足元を大事にしていきたい」といった声がありました。

自由意見

建設業	
○ 県北西部には復興の兆しなし。除染は景気に関係なし。	【建築】
○ 災害の工事が一段落した後からが、激戦の始まりと考えています。足元を大事にしていきたいと思ひます。	【建築】
○ 建設業界は、非常に多忙だがこのような状況がいつまで続くか、先が見えない。	【建築】
○ 当面の問題点は、現状に見合った販売方法を確立することです。	【建築】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-23.3
先行き	-4.1
前回比	-9.8

対象企業	115
回答企業	73

業況・採算・資金繰りでわずかに悪化、売上で悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善……「建築材料」
- ・わずかに改善……「青果物」
- ・わずかに悪化……「その他」
- ・悪化……「衣服」、「飲食料」、「機械器具」
- ・大幅悪化……「鮮魚」

【3か月先見通し】

売上で改善、業況・採算・資金繰りでわずかに改善を見通している。

〈業況〉

- ・大幅改善……「鮮魚」
- ・改善……「衣服」、「青果物」、「その他」
- ・横ばい……「飲食料」、「機械器具」、「建築材料」

「原発事故により水揚げがないのと、色々な加工品を出荷しても県産の物は売れ行きも悪い。」「仕入単価上昇傾向にあるが、販売単価になかなか転嫁できず、採算の向上とはいかない。」といった声があった。

自由意見

卸売業

- 原発事故により水揚げがないのと、色々な加工品を出荷しても県産の物は売れ行きも悪い。【鮮魚】
- スーパーの価格競争で販売価格が下落。また、円安で輸入品単価がアップしており厳しい。【鮮魚】
- 今は良いが(住宅新築)5年先、10年先の予想は悪化と思う。【建築材料】
- 仕入単価上昇傾向にあるが、販売単価になかなか転嫁できず、採算の向上とはいかない。【建築材料】
- 求人に対し、応募がない。【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-28.7
先行き	-18.8
前回比	-22.2

対象企業	138
回答企業	80

資金繰りで横ばい、採算でわずかに悪化、業況・売上で悪化を示した。

〈業況〉

- ・大幅改善……「中小スーパー」
- ・わずかに改善……「家電品」
- ・横ばい……「大規模店」
- ・わずかに悪化……「衣料」、「飲食料」
- ・悪化……「家具・建具」
- ・大幅悪化……「自動車販売」、「その他」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善……「中小スーパー」、「衣料」、「飲食料」
- ・横ばい……「家電品」、「自動車販売」、「大規模店」、「その他」
- ・わずかに悪化……「家具・建具」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善……「家電」、「自動車販売」、「その他」
- ・わずかに改善……「飲食料」
- ・横ばい……「中小スーパー」、「家具・建具」、「大規模店」
- ・わずかに悪化……「衣料」

〈資金繰り〉

- ・横ばい……「中小スーパー」、「衣料」、「飲食料」、「家電品」、「家具・建具」、「大規模店」、「その他」
- ・わずかに悪化……「自動車販売」

「顧客の高齢化による客数減の中、新規客は見込めず、商売の継続も危うい状況です。」
「商品の動きが悪い。又、低価格指向である。」先行きが心配です。」といった今後の先行きに対する不安の声がほとんどであった。

自由意見

小売業

- 仕入単価は上がって来ているが、収益は上がらず大変厳しい。【衣料】
- 顧客の高齢化による客数減の中、新規客は見込めず、商売の継続も危うい状況です。【衣料】
- 風評被害が長引くことにより、売上げや利益の減少に歯止めがかからないと営業の存続が危ぶまれる。【衣料】
- 原材料仕入の30%が海外からの輸入によるので、円安の影響が少しずつ出てきている。【飲食料】
- 店の前の国道拡幅工事が先月完了のおかげで、随分整備され良い環境になりつつあります。【飲食料】
- 住民が少なくなっており、顧客数及び売上高の増強に努めなければ、前年対比は難しい。【飲食料】
- 輸入品の単価が上昇している。【飲食料】
- 3か月先の目標はあるが予想はできない。【飲食料】
- 商品の動きが悪い。又、低価格指向である。【家電品】
- 求人を出しても、パートさんの応募がなく、人手不足で苦労しています。【家電品】
- 販売台数の減少は業界大半の悩み。【自動車販売】
- 先行きが心配です。【自動車販売】
- 家具業界はメーカー、卸、商社全ての仕入環境が悪化して来ました。リーマンショック前と同じ状況です。株価や不動産価格だけの上昇は危険だと思ふ。【家具・建具】
- 電気料の値上げは影響が大きいです。【その他】
- いわき市内の人手不足は全ての業種にわたっている。売上げは昨年の反動が大きく、前年割れが多い。【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-13.1
先行き	0.0
前回比	6.5

対象企業	103
回答企業	61

業況・資金繰りでわずかに改善、売上・採算で横ばいを示した。

<業況>

- ・改善……「運送」、「自動車整備」
- ・わずかに改善……「観光旅館」
- ・横ばい……「タクシー」
- ・わずかに悪化……「その他」
- ・悪化……「情報サービス」

<売上>

- ・改善……「観光旅館」、「自動車整備」
- ・わずかに改善……「運送」
- ・わずかに悪化……「タクシー」、「情報サービス」、「その他」

【3か月先見通し】

業況・売上・採算でわずかに改善、資金繰りでわずかに悪化を見通している。

<業況>

- ・大幅改善……「情報サービス」
- ・改善……「観光旅館」
- ・わずかに改善……「タクシー」
- ・横ばい……「運送」、「自動車整備」
- ・わずかに悪化……「その他」

<資金繰り>

- ・わずかに悪化……「観光旅館」、「情報サービス」
- ・横ばい……「タクシー」、「運送」、「自動車整備」
- ・悪化……「運送」、「その他」

「トラック運送業界において、燃料の高止まりが続き、厳しい状況に変わりない。」「人手不足が続いています。」「客数の減少により、3ヶ月先は不安です。」といった声があった。

自由意見

サービス業

- 物価は上がっているのに販売単価が上がらない。【旅館・ホテル】
- 現状安定期 【タクシー】
- トラック運送業界において、燃料の高止まりが続き、厳しい状況に変わりない。会津地区においての製造業衰退が心配される。【運送】
- 燃料代が高止まりで推移しており、利益率が改善されない。【運送】
- 運送業としては燃料の高騰がネックになっている。増税により、さらに厳しさが増すと思われる。【運送】
- 人手不足が続いています。【自動車整備】
- 今年一杯は前年とほぼ同じでいけるかもしれないが、来年は反動で落ち込む予想。【自動車整備】
- 受注があっても先延ばしとなり、資金繰りにも影響を及ぼしている。【その他】
- 客数の減少により、3ヶ月先は不安です。【その他】